

1. 下顎第二小臼歯部の全部被覆冠による補綴症例

○上村 信助・東 英幸*・岩堀 正俊
補綴科, *ひがし歯科医院

患者は25歳男性, 下顎第二小臼歯の痛み・全顎の歯石沈着を訴えて来院した。X線検査および自発痛があることなどから急性化膿性歯髄炎と診断した。歯石除去と並行して患歯の抜髄・根管充填後, コア形成, 支台築造を行い全部被覆冠による歯冠補綴を行った。

冠装着までの過程の中で, コア形成時の注意点, 印象時における歯肉圧排および半調節性咬合器を使用する際の冠製作など, 正確な補綴物の製作を目指す上で行う操作を再確認しながら診療する機会を得たので報告する。

2. 無歯顎におけるクリアトレーを用いた選択的加圧印象法

○永井 裕子・山内 六男*
矯正科, *総合診療科

上下無歯顎の患者に対し, クリアトレーを用いた選択的加圧印象を行った。クリアトレーは従来の個人トレーに比べ, 透明であるため擬似的な咬合状態での粘膜面の加圧状態を目視的に検出できる。すなわち, 無圧印象で製作したクリアトレーを加圧することにより, 咬合に拮抗できない貧血帯や疼痛点を明らかにし, その部分を削除, 再印象し, 選択的加圧印象を行う。これにより, 最大の維持力と均等な支持力を得ることができる。

3. 下顎総義歯, 上顎局部床義歯を作製した症例

○神吉 秀典・岡 俊男
総合診療科

患者は78歳の男性で現在使用中の下顎総義歯の不適合を主訴とし, 平成17年12月5日に来院した。口腔内状況として下顎の顎堤は骨吸収が著しく, 上顎は76┐67が欠損しており顎堤に異常は認めなかった。治療計画として, 下顎に総義歯, 上顎に局部床義歯を新製する事にした。平成18年2月1日に上下顎に義歯を装着。2月10日に右側下顎顎堤の疼痛の為, 下顎義歯の粘膜面の調整と咬合調整を行った。現在は経過観察中である。

4. 電気鑢着機を使用した義歯クラスプの修理

○尾上 大介・山田 一郎*・飯沼 光生
小児歯科, *山田歯科医院

義歯クラスプの破折による修理症例を経験したので報告する。患者は52歳女性。脳性麻痺で, 歩行および移動困難であるため在宅診療を行っていた。義歯クラスプが破折したため義歯を入れたまま印象採得を行い, この模型上でクラスプを新製した。そして, 電気鑢着機を用いて元のリングルバーと新製クラスプとを鑢着した。この方法により修理期間を短縮でき, 「義歯が無い」という状態からの早期回復を図ることができた。

5. 全身麻酔下で行った切歯管嚢胞摘出術

○藤枝 督史・山田 和人・岡 俊夫・松井 孝介
総合診療科

本症例は, 上顎口蓋部の疼痛および腫脹を主訴として, 福井赤十字病院に近医から紹介された。咬合法エックス線写真検査・CT検査を行い, 切歯管嚢胞と診断した。抗生剤にて消炎後, 後日術前検査・入院説明を行い, 全身麻酔下での嚢胞摘出術を施行した。手術翌日には, 創部痛がなく問題がなかったため退院。一週間後の来院時に, 経過良好のため外来にて抜糸を行った。

6. 歯冠修復後の二次齶蝕歯に対し生活歯髄切断法を行った症例

○安村 真一・長谷川信乃
小児歯科

患児は10歳の男児。定期検診にて当科に通院中。2006年1月21日来院時にDに齶蝕が認められた。同歯はインレー修復処置が施されていた。自発痛は認められなかったが, エックス線検査において歯髄に近接する透過像が認められ, 慢性単純性歯髄炎と診断し, 同日2%キシロカイン浸潤麻酔下にて生活歯髄切断法を行った。1週間後の来院時に自発痛等の不快症状が認められなかったため, 乳歯既製冠修復処置を行った。

7. 上顎右側第一大臼歯の異所萌出に対しリングルアーチを用いて誘導を行った症例

○三上 博子・長谷川信乃
小児歯科

患児は7歳10か月の女児。口腔健診を主訴に来院した。口腔内検査を行ったところ上顎右側第一大臼歯近